

事業番号	09 01 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業委員会等補助事業費	部局	農政部	課・室	農業政策課		
		実施期間	S26 ~	E-mail	nosei@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標							
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進						

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ○農業委員会の積極的な活動により、担い手への農地等の利用の集積・集約化が進み、県内での農地利用の最適化が促進される 農地利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、農地情報公開システム*の活用等の活動を支援 (*農地台帳と農地地図の情報をインターネット上で公表するシステム) ○男女共同参画に向けた意識向上や活動強化による女性農業委員の積極的な登用の推進 ○農業委員会の活動強化や農業経営の合理化等を支援する農業委員会ネットワーク機構（長野県農業会議）への支援により、機構の組織・事業の効果的・効率的な運営が図られる 【これまでの取組】 ○農業委員への多様な人材の登用促進キャラバン（令和元年度、県と農業会議） 5農業委員会（女性農業委員1名以下）に出向き農業委員任命権者等に対して女性農業委員の積極的な登用について要請を実施 ○女性の登用促進に向けたアドバイザーの委嘱（農業会議） 県下10地区の女性農業委員・農地利用最適化推進委員の代表者10名、女性農業委員長2名の計12名に委嘱 ○女性の農業委員及び推進委員の登用促進研修会を開催（農業会議と長野県農業委員会女性協議会） ○農地利用最適化交付金の活用促進等に係るキャラバン（令和元年度、県と農業会議及び農業会議単独） 23市町村に出向き、農業委員・推進委員の報酬の上乗せ条例の整備について説明を実施 ○農地情報公開システムの円滑な運用への協力支援（農業会議、令和元年度） 農業委員会に対する訪問指導、習熟度別操作研修会の開催			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 【上乗せ報酬条例の整備】 ○未整備の市町村では、条例を整備する意向のない農業委員会が多い。他委員との報酬差がつくことへの抵抗がある。 【農業委員に占める女性の割合】 ○地域によっては、女性農業者の高齢化や減少により、女性農業委員のなり手が不足している。 </td> <td> ○優良事例や成果を紹介しながら、各農業委員会へ条例整備と農地利用最適化交付金の積極的な活用に向けた働きかけを行っていく。 ○女性農業委員の積極的な登用について引き続き市町村への働きかけを行うとともに、補助事業を通して農業会議の行う研修等へも支援を行っていく。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	【上乗せ報酬条例の整備】 ○未整備の市町村では、条例を整備する意向のない農業委員会が多い。他委員との報酬差がつくことへの抵抗がある。 【農業委員に占める女性の割合】 ○地域によっては、女性農業者の高齢化や減少により、女性農業委員のなり手が不足している。
課 題	今後の方向性			
【上乗せ報酬条例の整備】 ○未整備の市町村では、条例を整備する意向のない農業委員会が多い。他委員との報酬差がつくことへの抵抗がある。 【農業委員に占める女性の割合】 ○地域によっては、女性農業者の高齢化や減少により、女性農業委員のなり手が不足している。	○優良事例や成果を紹介しながら、各農業委員会へ条例整備と農地利用最適化交付金の積極的な活用に向けた働きかけを行っていく。 ○女性農業委員の積極的な登用について引き続き市町村への働きかけを行うとともに、補助事業を通して農業会議の行う研修等へも支援を行っていく。			

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	【農地利用最適化交付金】 ○活動実績に応じた交付金（62,684千円）、成果実績に応じた交付金（42,229千円） 活動実績に応じた交付金は活動内容に応じて交付単価に傾斜をつけ、「人・農地プラン」の実質化に係る活動及び担い手への農地集積・集約化の推進活動の強化を図る
	【機構集積支援事業】 ○農業委員会の必須業務である農地の利用状況調査等の経費（30,829千円）等の支援に加え、農地情報公開システム活用に係る経費（7,025千円）を支援
	【農業委員会ネットワーク機構費補助金】 ○農業委員会活動強化対策事業（890千円）として、多様な人材登用促進、農地利用最適化交付金の活用促進等を図るための農業委員会への巡回指導、男女共同参画促進に向けた研修会等を支援

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]					No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末 (見込)	R3年度 目標値	区分(単位:千円)		
事業コスト		R1年度	R2年度	R3年度									
		前年度繰越	0	0									
		当初予算	398,963	421,571							要求 400,090 予算案 400,399		
		補正予算	-16,282	0									
		合計(A)	382,681	421,571							要求 400,090 予算案 400,399		
		うち一般財源	61,617	57,178							要求 52,067 予算案 52,376		
		決算額(B)	372,679										
		職員数(人)	0.4	0.4									0.4

成果指標 設定理由	①農業委員会による農地利用最適化活動の取組状況を示す指標の一つとなることから、農地利用最適化交付金を活用した市町村数を成果指標とした。目標値は令和3年度事業要望調査に基づき55市町村に設定した。 ②令和3年度改選を迎える15農業委員会のうち、女性農業委員0人の農業委員会が1委員会あることから、令和2年度末見込156人に1人を加えた157人を目標値として設定した。 ③農業委員会が公表している農地情報公開システムは、農地法に基づき農地台帳及び農地地図を整備、最新の情報に更新することが農地利用の促進に重要なことから成果指標とした。令和元年度末実績から令和2年度目標（前年度+1）を目安に、令和3年度目標値を前年度目標値（38）+1と設定した。
--------------	---

予算要求からの 主な変更点	農業委員会ネットワーク機構費補助金について、必要経費の増により補助額を増額
------------------	---------------------------------------

事業名	農業委員会等補助事業費	部局	農政部	課・室	農業政策課
-----	-------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
1	農業委員会等補助事業費	398,963 千円	421,571 千円	要求 400,090	予算案 400,399 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	農業委員会交付金	交付金	市町村の農業委員会事務が適切に行えるよう農業委員及び農地利用最適化推進委員の基礎的な手当等の経費を交付する。 【交付対象：77市町村農業委員会 190,367千円】		
2	農地利用最適化交付金	交付金	農業委員会による農地の利用の最適化に向けた積極的な活動に要する経費を交付する。 【交付対象：52市町村農業委員会 104,913千円】		
3	機構集積支援事業	交付金	農地の利用状況調査、遊休農地の所有者の利用意向調査、農地等の台帳の調査等に要する経費を支援する。 【交付対象：41市町村農業委員会 40,846千円】		
4	農業委員会ネットワーク機構費補助金	補助金	農業委員会ネットワーク機構が行う農業委員会への活動支援などの業務が適切に実施できるよう必要な経費を支援する。 【補助対象：（一社）長野県農業会議 64,273千円】		